

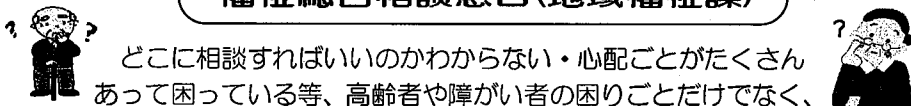
兵庫県立男女共同参画センター・イーブンの相談窓口

種類	電話番号	実施日時
女性のための悩み相談 (女性カウンセラー)	電話相談(直通) 078-360-8551	月～土曜日 9:30～12:00 13:00～16:30
	面接相談(要予約) 078-360-8554	月～金曜日 11:00～18:40
		土曜日 9:20～16:50
法律相談(女性弁護士)	面接相談のみ※なやみ相談(面接後に予約)	毎月 第2火曜日(原則)
男性のための相談 (男性臨床心理士)	電話相談のみ 078-360-8553	毎月第1・第3火曜日 17:00～19:00
不妊専門総合相談 (助産師等)	電話相談(直通) 078-360-1388	毎月第1・3土曜日 10:00～16:00
	面接相談(要予約) 078-362-3250	毎月第2土曜日・第4水曜日 14:00～17:00
女性のためのチャレンジ相談 (女性社会保険労務士等)	電話相談・面接相談(電話・面接とも要予約) 078-360-8554	毎月第1～4木曜日 10:00～13:00
イーブン女性就業相談室 ハローワーク相談窓口	問合せ先(電話相談不可) 078-360-8260	月～金曜日 9:00～17:00
情報相談(情報アドバイザー) (学習や調べ物などのご相談に)	電話相談(直通) 078-360-8557	月～土曜日 9:00～17:00

女性のための相談窓口

窓口	電話番号	実施日時
兵庫県立女性家庭センター (兵庫県配偶者暴力相談支援センター)	078-732-7700	毎日9:00～21:00 緊急時は24時間対応しています
兵庫県警察本部 ストーカー・DV相談	078-731-7830	毎日 24時間
神戸地方税务局 女性の人権ホットライン	0570-070-810	月～金(祝日・年末年始を除く) 8:30～17:15
篠山市役所人権推進課 (第2庁舎1階)	079-552-6926	月・火・木・金(祝日・年末年始を除く) 9:00～16:00

福祉総合相談窓口(地域福祉課)



どこに相談すればいいのかわからない・心配ごとがたくさんあつて困っている等、高齢者や障がい者の困りごとだけでなく、どんなささいなことでも結構ですのでご相談ください。

電話番号 554-2511 月曜～金曜 8:30～17:15

篠山市男女共同参画センター情報紙

フィフティだより

～一人ひとりが輝く社会をめざして～

第31号 平成27年3月発行

Sasayama City
Gender Equality Center



【発行】

〒669-2397 兵庫県篠山市北新町41

篠山市役所第2庁舎1階

篠山市市民生活部人権推進課

電話: 079-552-6926

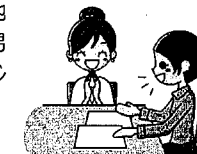
FAX: 079-554-2332

「出前 女性のためのチャレンジ相談」を開催しました

2月12日(木)9時から「出前 女性のためのチャレンジ相談」を開催しました。この相談会は、出産・育児・介護等のために離職し、再就職、企業、地域活動など新たなチャレンジをめざす女性の相談に対応するため、県立男女共同参画センターから市町へ相談員を派遣し、地域の女性の相談に応じるものです。

専門の相談員による一対一の相談で1人当たり50分の時間で行われました。

参加者から「今後のやりたいことが明確になってきた。不安や心配事が話を聞いてもらって和らぎました。」「次への良いステップになりました。前向きに頑張ります。」「いろいろ悩みがあり相談できてとても勇気をもらって良かったです。」と喜んでいただきました。



知っておくと便利 身近な日用品で簡単
手作り防災グッズ

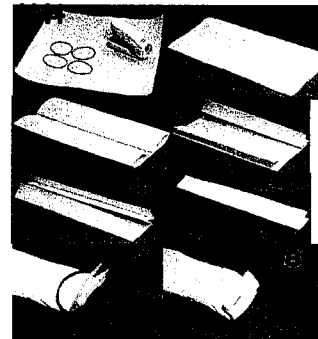
キッチンペーパーで作る紙マスク

マスク1個当たりの材料

・キッチンペーパー ・輪ゴム4個 ・ホッチキス

1. 半分に折る 2. 半分にした紙を開き中心の折り目に向かって上下から折りたたむ 3. 今度は外に向かって上下に開いて折る 4. 折り目を付けた紙を裏返して、さらに中心に向かって折りたたむ 5. 最後に中心に向かって折りこみ棒状にしたら本体の完成 6. 輪ゴムを2個ずつ結んで長さの調整をする 7. マスクの左右を折り、輪ゴムを挟んで折りたたむ 8. 輪ゴムを挟んだマスクの端をホッチキスで止めて固定すると完成!

備え・防災を日常にする防災情報メディア/備える。p.10より引用
(注意) この紙マスクはあくまでも簡易用です。感染症を防ぐ用途には役立ちません。また、わざわざマスク用にペーパータオルと輪ゴムを用意するのではなく、最初からマスクを用意しておくようにしましょう。



篠山市市民生活部人権推進課

電話番号: 079-552-6926 FAX: 079-554-2332

Eメール: jinken_div@city.sasayama.hyogo.jp



「農業で輝く女性のチカラを活かします」

農林水産省経営局就農・女性課女性高齢者活動推進室

1 女性が輝く社会づくり

現在、政府は、わが国最大の潜在力である「女性の力」が十分発揮され、社会の活性化につながるよう「女性が輝く社会づくり」を進めています。

農業においても、女性は、我が国の基幹的農業従事者の42%を占め、農林水産業と地域の活性化において重要な役割を果たし、6次産業化の担い手としても大きく期待されています。

また近年、農業の現場で活躍する女性が増えてきており、単なる労働力としてではなく、農業経営の中で、女性ならではの感性や視点、アイデアを活かした経営を展開している女性が多く見受けられます。



農林水産省では、そうした意欲ある女性がますます能力を発揮し、より一層活躍していただくために、女性が働きやすい農業の環境づくりをより一層強化するとともに、女性の力で新たな農林水産業や地域づくりを進めていくことが重要だと考えております。

○農業女子プロジェクト

本プロジェクトは、女性農業者が日々の生活や仕事、自然との関わりの中で培った知恵を様々な企業のシーズと結びつけ、新たな商品やサービス・情報を社会に広く発信し、農業で活躍する女性の姿を多くの皆さまに

知っていただくための取り組みとして、平成25年11月に立ち上げました。

プロジェクトの活動を通じ、

- ①農業女子の持つ「生産力」の可能性を拡げる、
 - ②農業女子ならではの「知恵力」を活かした商品開発等を行う、
 - ③農業女子という新たな「市場力」を企業側に発見してもらう、
- という3つの力を発揮していけるよう、取り組みを進めています。

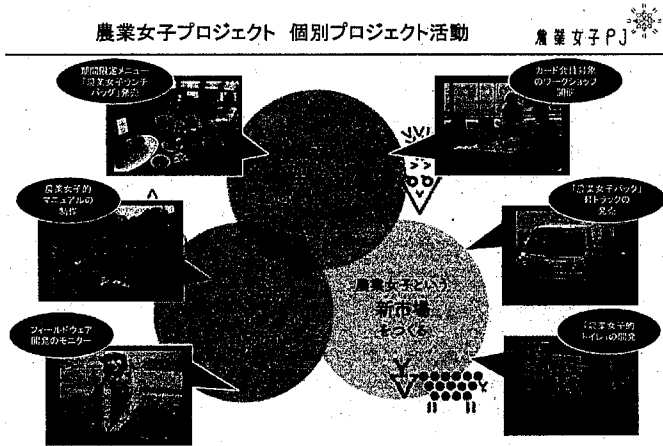


農業女子PJ

参加する農業女子メンバーは、経営者、農業法人の農場長、後継ぎ娘、お嫁さん等立場も様々、作物も水稲、野菜、果樹、花き、畜産とたぎにわたっています。平成27年1月現在、233名の農業女子が参加しており、現在も全国から募集中です。

○個別プロジェクトの取組

プロジェクト開始から1年が経過しいろいろな活動が展開されています。企業との個別プロジェクトについて、いくつかの成果事例を紹介いたします。



【“私の”軽トラックプロジェクト】

(ダイハツ工業株式会社)

農業女子の仕事に欠かせない軽トラックについて、農業女子の視点を取り入れた新型車の開発を行い、26年9月に販売されました。開発の際、全国各地の農業女子にヒアリングし、不満や要望を聞き取り、カラフルなボディー、乗りやすい座席の高さ、豊富な車内収納、UVカットガラス採用など、女性に優しい軽トラックが誕生しました。



【インナービューティーを創ろうプロジェクト】

(タニタ株式会社)

日本の食を最前線で支える農業女子の美と健康をサポートしようと、タニタの体組成計と活動量計で農業女子が自分の体の健康度をチェックし、その計測データを踏まえたアドバイスに基づき、運動を取り入れたり食事内容を見直すプログラムを展開しました。

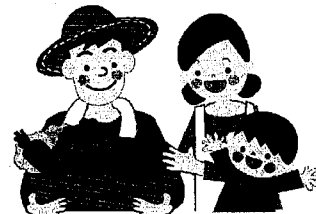
○「女性が輝く社会の実現」に向けて

調査によれば、女性が経営に参加している農業経営体の方が、売上高や利益が向上する傾向にあるとのデータが出ています。農業の成長産業化にとって、女性農業者の活躍を進めていくことは極めて重要です。

農業女子プロジェクトでは、

- ①社会、農業界での女性農業者の存在感を高める
- ②女性農業者自らの意識の改革、経営力の発展を促す
- ③若い女性の職業の選択肢に「農業」を加える

ことを目指し、引き続き「女性が輝く社会」の実現に向けた全国的なムーブメントの先端となるべく、活動展開を進めてまいります。



農業女子プロジェクト 個別プロジェクト全体イメージ

